

2022（令和4）年度 技術アイデア「見える化」支援事業

外部専門家（アドバイザー） インフォメーションシート

ふりがな	おだ	まさふみ
氏名	尾田	雅文
所属／職名	新潟大学 地域創生推進機構／教授 (工学部工学科協創経営プログラム担当)	



■ 主要な専門・研究分野／産学連携（企業支援）の実績など

専門・研究分野	医療・福祉工学，技術経営，機械工学
産学連携（企業支援）の実績など	カスタムメイド型褥瘡（床ずれ）予防福祉用具，術前用腸内洗浄装置，人工股関節ユニット，術前計画のためのモデルサージェリー用骨モデル，遺伝子治療用装置，触覚センサー，ならびに障害者用アイススレッジ（アイスホッケー用ソリ）等を，企業と共同で開発・試作しました。この中には，企業と共同で特許出願したものや，出願・特許査定後に企業へ技術移転したケースもあります。 また，コンソーシアム型の研究開発プロジェクトでは，プロジェクト・マネジメントや技術評価の観点から，プロジェクト運営に携わった経験を有している他，博士人材のインターンシップ事業で形成した県内の企業様とのコネクションを生かし，現在，協創経営プログラムのインターンシップ授業では，主担当教員として学生マッチング

■ 主な研究経歴

2004年-2007年	超音波を利用した義足ソケット形状決定支援システム構築に関する研究
2007年-2010年	4次元感覚センシング・フィードバックによるNIPPV用鼻マスク形状の最適化
2011年-2014年	ハイドロダイナミック遺伝子治療装置の制御パラメータ導出手法の開発
2020年-	皮膚障害を考慮したDVT予防装置の開発
著書	福祉工学（理工図書），3Dプリンター×テーラーメイド医療実践股関節手術（金芳堂）

■ 主な職務経歴

1989年4月	新潟県工業技術センター（現・新潟県工業技術総合研究所）研究員
1992年4月	新潟職業能力開発短期大学校 生産技術課 講師
1997年4月	職業能力開発総合大学校 福祉工学科 助教授
2003年9月	新潟大学 地域共同研究センター（現・地域創生推進機構）教授
2019年4月	新潟大学 工学部工学科 協創経営プログラム担当

■ 研究・技術開発に取り組む中小企業様へのメッセージ

技術の高度化，マーケットの複雑化のため，近年では研究開発を1社単独の自前主義的实施で進めることが難しくなっています。このため，数社からなる協働体制で，各社個々が持つ特徴を活かして開発を進めるコンソーシアム体制の有効性が増えています。もちろん，コンソーシアム体制ならではのデメリットはありますが，適切なコミュニケーションにより，それぞれの役割分担やマイルストーンを明確にすることで克服は可能であり，さらには公共的研究開発資金を導入しやすくなるなどのメリットに転ずることも可能です。

本新潟IPC財団事業を活用して新潟で仲間を作り，新潟発の新技术・新製品や新サービスを協働で創造し，グローバル展開を目指しませんか？